

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18

にっち音声工房 制作

# 魔王陥落 PLUS ～熟牝魔王の淫語咆哮ハードファック Re.～

19 ・チャプター 1 「魔王、勇者に敗れる」

21 …ここまで、か。

22 人間ごときが、まったくやりおる。

24 直属の精鋭に守らせたこの城を落とし、あまつさえワシにここまでの手傷を負わせるとは。

25 貴様との死合、久々に心が躍ったぞ。

27 …ふうううう。

28 ワシの負けだ。殺せ。首でも何でも持ってゆくがいい。

30 もともと天下などに興味はなかった。

31 人間どもの迫害に耐えかねた同族たちの、その恨みつらみに絡めとられ、王などと不似合いな役に担ぎ上げられてしま  
・ ったが…。

32 最期はこうして、ひとりの武人として死ねることを、喜ぶべきだろう。

34 …だが、捕虜の扱いはくれぐれも丁重に頼む。

35 ワシのような道化に付き合ってくれた者たちに、どうか情けをかけてやってくれ。

必要以上に禍根を残せば、またくだらぬ争いが起こる。

それを忘れてくれるな、人間の男。

…さあ、やれ。殺せ。貴様の全力をもって、ワシの首をはねるがいい…！

…貴様か。

ワシをこのような場所に閉じ込めて、一体どういうつもりだ。

殺すわけでも、裁きにかけるわけでもなく、他の人間どもからも隠すようにして。

もはや貴様は魔王殺しの英雄だろう？

敗れた敵将に何の用があるというのだ。

…んな…！？

今、なんと言った？

56      ワシを、妾に迎えたいと、そう言ったのか？  
57      魔族の王たるワシに、人間の男の慰みものになれと？  
58  
59      …笑わせるな。そのような恥辱にまみれるくらいなら、このまま死を選ぶ。  
60      貴様も武人の端くれだろう。くだらぬことを言うな。  
61  
62      …なんだ？ 空間投影の魔術か？  
63      …映っておるのは、貴様の仲間と、…アレーシャ？ それにミュゼとカノンまで。  
64  
65      何なのだ、あの拘束具は。  
66      捕虜を、あのようなおぞましいものにはりつけにするなど、なんと野蛮な…。  
67  
68      いますぐやめさせろ！ 男どもをあやつらに近づけるな！  
69  
70      くっ！ 何を笑っておる！  
71      脅しのつもりか、貴様っ！  
72  
73      これ以上、アレーシャたちを辱めるなら、殺す！  
74      殺して、やる、ぞ。…ん、ぐはあつ。

75 ん、ぐ。ワシの、力を、封じた、のか…？

76

77 く、くそっ。この、ゲスが…！

78 うぐ、ん、ぐふ…。

79 ん、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。

80

81 …頼む。あやつらは解放してやってくれ。

82 もてあそぶのなら、ワシひとりにしろ。

83 一度、捨てた命だ。好きにするがいい。

84

85 …だが、勘違いするなよ。

86 たしかに命は預けるが、決して心まで許しはしない。

87 戦の道具になるつもりもない。

88

89 それでも、捕虜の解放を約束するのなら、ワシの体など貴様にくれてやるわ。

90 ただし、少しでも気を抜けば、ワシは貴様を殺す。

91 覚悟しておけよ。

92

93

94 ・チャプター2「手コキ→イラマチオ→フェラチオ→飲精」

95  
96 …何？　いますぐ、スル、のか？

97  
98 …もちろん、あやつらは無事だろうな？

99  
100 ワシが拒否できないと知り、調子に乗りおって。

101 このような下劣で低俗な男を英雄として拝まなくてはならない人間どもも、気の毒なものだな。

102  
103 なっ…。

104 こら、待て。急に脱ぐんじゃない。

105 前を、こちらに向けるな。

106  
107 あ、ああ。わかっておる。

108 ワシは貴様に敗れた。

109  
110 そして、部下たちの安全と引き替えに、貴様に体を捧げると約束した。

111 言われなくとも、その契約は守る。

113 だがしかし、くそっ、これは…！  
114  
115 なんていう屈辱…！  
116 魔族の王たるワシが、人間ごときの夜伽の相手など。  
117 ワシの十分の一の年月も生きておらぬ若造に、よもや性処理を命じられるとはな。  
118  
119 …仕方がない。見せてみろ。その粗末なものを。  
120 ん、だから、急に近づけるなと言っておる…！  
121 …お、おお。これが人間の男のものか…。  
122  
123 いや、なんでもない。  
124 で？ これを、どうすればいいのだ？ 手で、もてあそぶのか？  
125  
126 …わかった。  
127 そら、触れるぞ。  
128  
129 思ったよりも、柔らかいのだな。だらしなく垂れておるわ。  
130 ワシに手で奉仕させるなど、魔王という肩書きも随分となめられたものだ。  
131

132 それにしても、敵の総大将に急所をつかまれて、よくもまあ、そう呑気にしてられるな。  
133 魔力を封じられたワシなど、恐れる必要はないということか。  
134 あまり侮っておると、握りつぶしてしまうぞ。  
135  
136 ほれ、貴様のものがだんだんと硬くなってきたわ。  
137 ワシの指が、心地いいのか？ 魔王と恐れられた女にもてあそばれて、感じておるのだな。  
138  
139 …ああ。こんなにも熱いのか、男のものとは。  
140 首をもたげて、こちらを威嚇してくるようだ…。  
141  
142 貴様の男根、すっかり上を向いてしまったな。  
143  
144 …ああ、そうだ。…チンコ、だ。  
145 男の性器が、ワシの手の中で、勃起、しておる。  
146  
147 たった数日前まで殺し合いをしていたワシの手が、今は敵の粗チンをシゴき上げておる。  
148 人質を取られて仕方なくとはいえ、なんとも滑稽ではないか。  
149 人間のオスの性処理に付き合わされて、こうやって手でチンコを握らされて…。  
150



151 くそっ。

152 これならば、斬り合いのほうがいづらかマシだ。

153 もっと強くシゴいてやるから、早く終わらせろ。ワシの手の中で果てるがいい！

154

155 そら。そらそら、これでいいだろう？

156

157 …ん、おお。まだ大きくなるのか、このチンコ。

158 手を動かすたびに、マラがどんどん太くなる。

159 ビクビク脈打ち、感じておる…。

160

161 ああ、もっとだ。もっと硬く、太くしてみろ。

162 ほれほれ、限界までバキバキに勃起させてみる…！

163

164 魔王の手に、剣のかわりにチンコ握らせて、貴様も興奮しておるのだろうか？

165 魔王の手コキで、感じておるのだろうか？

166

167 ワシの悔しがる顔をみて優越感に浸るのもいいが、貴様も下半身を震わせながら随分とみっともない面をしておるぞ。

168

169 ヒトの英雄も所詮、ただのオスカ。

170 こうやってチンコをズリズリこすられるだけで、いともたやすく間抜け面を晒す。  
171 これではどちらが勝った側か、わからぬなあ。  
172  
173 …急にどうした？ カンにさわったのか？  
174 やめろ、ワシの体に触れるな…！  
175  
176 何をする！ 汚らしいものを顔の前に突き出すんじゃない！  
177 貴様、ん、んぐぐ、んんん。  
178  
179 んん、んぐ、んふう！  
180 あぐ、あがぁ、うん、んんん！ んぶ、ぶちゅっ、んが、んずちゅ！  
181  
182 ぐぬぬ、あぐ、あっぐ、んごお！ うが、あが、ずちゅる、んちゅ、ぐちゅ！  
183 ずぼ、ずぼちゅる、ずちゅ、ぐぼお！ ずる、づづ、づぼ、ぢゅぶ、んぐ、ぐが、あっぐう！  
184  
185 んぶはぁ！ んはぁ、はぁ、はぁ、はぁ、はぁ、はぁ。  
186 な、何を、する！ ワシの、魔王の口を、下劣な欲望で犯すとは！  
187  
188 人間のオスの肉棒で、容赦なく喉まで突きおって…。

189 女を蹂躪して、偉くなったつもりか？

190

191 なんと低俗で卑小な男か！ 恥を知れ、ゲスが！

192 くそっ、来るな。やめろ、やめ、んぐ、ん、んんぐ！

193

194 んん、んぐ、ぬが、ぐ、ぐふう！ んぐ、ぐちゅ、ずる、ずちゅる！

195 ぐちゅ、ずぼちゅ、ずちゅ、んぐちゅ！ ず、ずちゅ、ちゅる、んぐ、あぐ、ぐ、ちゅずぼ！

196

197 んぐ、ぐちゅ、ずちゅ、ちゅ、ぐ、んん、んぐ、ぐあ、んがあ！

198 んぐぐ、ぐちゅ、づちゅ、ぐ、んぐぐ、んぐ、ぐちゅ、ちゅ、ずるちゅ、ちゅぼ、ちゅば、んぐぐ、んがはあ！

199

200 んはあ！ ん、んはあ、はあ、はあ、はあ。

201 ぐぬぬ。くそっ！ 魔王たるワシが、人間のオスにいいようにもてあそばれておる…。

202

203 これが戦で敗れるということか…。

204 敗者からは尊厳すら奪い去られるというのか…。

205

206 …ワシは負けん。

207 戦には敗れたが、心までは屈服しない。どんなに責められようが、貴様に媚びたりはせぬ！

208 さあ、いつでも来い。好きなだけワシの口で楽しむがいい。

209

210 その自慢のマラを、ワシの喉奥めがけてガンガン突き入れてこい。

211 肉体の苦しみなど、貴様に許しを請うことを思えば、瑣末なものだ。

212

213 その肉マラでどれだけ喉ピストンされようが、ワシの心は折れぬ。

214 ワシは魔王だ。その誇りまでは奪えると思うなよ…！

215

216 …どうした？ 来ないのか？

217 呆けたような顔でワシを見て。さっきまでの威勢はどこへいったのだ？

218

219 チンコをビンビンにおっ勃たせたまま、なにを間抜けな面で立ち尽くしておる。

220 ワシの喉を犯すのに飽きてしまったか…。

221 しかし、それにしても鼻息が荒いな。

222

223 何？ 今度はワシから、奉仕しろ、と…？

224

225 …馬鹿な。魔王に自らの意志で、人間のオスマラを舐めしゃぶれと、そう言うのか。

226 無理やりならばともかく、ワシがすすんでそのような破廉恥な真似をするはずがなかろう。

227 つい先程、貴様には媚びぬと宣言したばかりではないか。  
228  
229 んな！？  
230 ワシに、惚れた、だと？ ワシの反骨心が、貴様にそう言わせた…？  
231  
232 き、貴様、やはり頭がわいておるな。  
233 陵辱してもワシをおとすことが出来ないと悟って、そのような戯言を。  
234 ワシが、それで売女のようにチンコを咥えると思ったか。  
235  
236 …くっ。ここで捕虜の話題を出すのか、貴様。  
237 彼女らを守るためならば、ワシもプライドを捨ててマラ奉仕をすると？  
238  
239 …くそ。つくづく卑怯な。  
240  
241 …ほれ、黙って腰を突き出すがいい。  
242 人質を取られて、仕方なく、だ。強要されて、仕方なく口奉仕するのだからな。  
243  
244 んん、先程までより、太く大きく…。  
245 ワシに咥えられるのを期待して、こんなにしておるのか。

246 このマラを、口と舌で舐めてしゃぶって、気持よくさせる…。

247 ワシが、魔王と呼ばれたワシが、浅ましくオスチンコをベロベロ舐め回すのか…。

248

249 何？ まだあるのか？

250 …わかった。どのみち貴様の欲望を満たさねば人質の解放はないようだ。

251 ワシのプライドなど、このいつとき、そこらに投げ捨てておいてやる。

252

253 ああ、言う。そう急かすな。

254 これから、ワシが、貴様の、チ、チンポを啜えてやる。

255

256 …そう、チンポだ。

257 人間のオスの、汚らわしい、肉チンポを、魔族の王たるワシが、ベロ奉仕してやると言っておるのだ。

258

259 …だから、もっとチンポを突き出せ。舐めやすいように貴様のオス肉を差し出すがいい。

260 いくぞ。舐めるぞ。憎い敵の、チンポ、チンポを。ワシが、魔王が、本当に舐めるっ。

261

262 んふ、ん、んちゅ。ちゅ、んん、んちゅ。

263 ちゅ、んちゅ、ちゅちゅ、んちゅう。

264

265 ん、ええろ。んえろ、ええろお。  
266 ええろ、えろ、んええろお。えろ、ええろえろ、んえええろおお。  
267  
268 ふっ。腰を震わせて、みっともないな。  
269 舐め上げた瞬間、ビクンと跳ねたぞ。  
270  
271 んええろお、んえろ。えろお、んえろお。えええろお、えろおお。  
272 えろお、えろん。えろおん、ええろおおん。えろえろ、ええろおお。  
273  
274 んべろ、べろ、べえろお。べろべえろ、べえろ、べろ。  
275 べろお、んべえろ。んふ、んべえろ、べろ。  
276  
277 ん、べろおん、べえろおん。ん、んふ。べろべろべえろおん。  
278 んべえろ、ん、べろ、べろべろべろべろ。べえろ、んふ、べええろおおん。  
279  
280 …ああ、熱い。チンポが熱いぞ。オスチンポ、どんどん硬く、上を向いてくる…。  
281 魔王のベロ舐めが、そんなに気持ちいいのか？  
282  
283 ならば、快感に抗わず、早く射精してしまえ。

284 早く、この屈辱的なチンポ奉仕を終わりにするのだ。

285

286 んぶ、ぶちゅる、ずちゅ、ちゅちゅ、ぶちゅ、ぶちゅう。

287 ずちゅ、ぶっちゅう、ずちゅる、ちゅ、ちゅぶぶ、ちゅっちゅう。

288

289 ん、んぶう。ぶば、ん、んぷ、んんん。ん、んぷ、んふ、ん、じゅぶぶ。

290 んじゅ、じゅば、じゅぼ、じゅぶ。じゅ、じゅぽちゅぶ、じゅ、じゅぶ、じゅぽぼ。

291

292 んぷはあ。どうした？ もうイキそうなのではないか？

293 肉マラの先から、オス汁、吐き出したいのではないか？

294

295 ふっ。我慢せずに、早くイケばいい！

296 ワシのペロペロチンポ舐めで、だらしなく射精するがいい。

297

298 じゅる、じゅ、ちゅぶ、ん、じゅぼ。

299 じゅるる、んちゅ、んふ、ぶじゅ、じゅろろ。

300

301 ん、ん、んじゅ、じゅぼ、じゅるる。ん、んえろおん、ねろおん。

302 ええろ。れろん、ええええろおん。んふ、じゅぶぶ、じゅぶ、じゅぼ、ええええろおん。



303 ほらいケ、ほらいケ、ほらいケ、ほらいケ！  
304 魔王のおしゃぶりで、ビュービュー、チンポ絶頂してみせろ！  
305  
306 ん、んふ、じゅぼ、んふ、じゅぶ、んふ、じゅるるる  
307 ええろ。じゅぶ、じゅ、じゅぼ。じゅぼぼ。ちゅぷ、ちゅ、じゅば。  
308  
309 ん、じゅ、じゅぶ、、ん、ん、じゅぼ。んふ、じゅ、んちゅ、じゅる、じゅろ、じゅるる。  
310 んちゅ、ん、ん、じゅ、じゅぷ、じゅろ、じゅるり。  
311 じゅぶ、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ。んは、ちゅ、ちゅる、じゅ、ん、じゅぼ。  
312  
313 んん、んふ。じゅ、じゅるう、じゅるじゅる、じゅば、じゅぼ、ぶじゅぼぼぼ。  
314 じゅば、じゅぷ、じゅぷぷ、じゅぱっ。じゅ、じゅるじゅ、じゅばば。じゅぼ、じゅぼぼ、じゅぼぼぼ。  
315  
316 じゅぶ、じゅぼじゅぼ、んっはあ。じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ、じゅぼじゅぼじゅぼ！  
317 じゅっ、じゅぱ！ んふ。じゅっぱ、じゅっぱ、じゅっぱ、じゅっぱ、じゅっぱじゅっぱじゅっぱ！  
318 ぶじゅ、じゅば、じゅぶぶ、ぶちゅる、ちゅば、ちゅぼぼ、ちゅぼぼぼぼぼぼぼぼ！  
319  
320 んん、んぶ、ぶ、んああ！ ん、んぶ！ んぶぶぶ！ んぶはあっ！  
321

322 んあ、んん、くちやあ。

323

324 んん？ ん、んふう！

325 んふ、んは。くちゅ、くちや、くちゅくちゅくちゅ。

326 くちや、ぐちゅ、ちゅ、ちゅう。れろん、ええろん。んは。ぐちゅぐちゅう、ぐちよ。

327

328 へえあ、んへえ。んん、んへええええあ。

329 ん、んふ。こえへ、ろうら？

330

331 へ、へ、えは、えふ。へ、へ、えへ。あふ、あはあ。

332 ん、んふ、ぐちゅう。

333

334 ん、んぶ、ごく、ごくり。

335 ん、んは、んはあああ。はあ、はあ、はあ、はあ。

336

337 …ん、ぺろり。

338

339 はあ、これで、満足か？

340

341      ワシにザーメンを味わわせるばかりか、腹の中までチンポ汁で犯しおって。  
342      これで気は済んだか？  
343

344      …ああ、人間ごときに好きにされて、まったく情けない。  
345      このような生き恥を晒すくらいならば、いっそ死んだほうがまだ…。  
346  
347  
348  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359

・ Chapter 3 「魔法のバイブ貞操帯と催淫スライムで徹底調教→アナルファック」

…ん。また、貴様か。まったく飽きもせず、毎日のように。

どうも英雄どのはヒマらしい。

何だ？ また、おかしな物を持ってきたのか。

どれだけ辱めを受けようと、貴様などに屈したりはせぬというのに。

ん、んん。断りもなく、気安く触れるな。

んん、ん、んふ。んあ、んん。

…ん？ 家畜のように牢に飼われた憐れな魔王に、自分でストリップをしろなどと…。

相変わらずの外道ぶりだな。

脱げと言われても、もともと申し訳程度の布しかあてがわれてはおらぬ。

もはや、この程度では恥とも思わなくなってきたぞ。

…ほれ、脱いだぞ。貴様の何十倍も生きておる、年増の裸だ。

379 ふっ、当たり前だろう。

380 魔族を率いるため、戦に打ち勝つため、鍛錬は欠かしておらぬからな。

381 そこの女のたるんだ体と、んあ、一緒にするで、ない。あ、ん、んふ。んあ、んああ。んは、ん、ん、んんん。

382  
383 …感じてなどおらぬ。貴様の幼稚なユビ技で、ワシがヨガるとでも思ったか。

384 ん、んん。んぬ、ううん。む、んん、んは、う、んん。

385  
386 貴様は、んん、いつも尻、ばかりだな。

387  
388 …馬鹿者。そういうわけではない。

389 他の場所も触って欲しいなどと、そのような意図はないわ。

390 んん、だから、違うというのに、あ、んん、んは。

391  
392 急に、乳首を引っ張るな。ん、んあ、舌で、転がすな。

393 ん、んふ。んは、あふん。ん、んんは。

394  
395 それに、しても、今日はやけに遠慮がちではないか。

396 いつもならば、まっ先にワシの秘所に食らいついて、自分勝手な性処理をおこなうというのに。

398 あのような粗末な性交では女は喜びはしないと、やっと悟ったか。ん、んん。んふ、んはあ。  
399 貴様はたしかに強いが、まだまだ小僧だ。  
400 ワシを昇天させようなどと数百年早いわ。ん、んんふ、んは、あふん、んは。  
401  
402 ん？ それが今日の趣向か？  
403 また妙なアイテムを持ち出しおって。  
404  
405 それを、その貞操帯をワシにつけるのか。  
406 ん、やめろ。それくらい自分でつけられる。だから、やめろというのに。  
407  
408 …くそ。貴様はワシにどれだけの屈辱を与えれば気が済むのだ。  
409  
410 それにしても、これは、んん、不可思議な素材だな。  
411 金属のように見えるが、柔軟性もあって、ほのかに温かい。  
412  
413 んん。なんだ、尻の部分は覆われていないな。  
414 前の、女の部分だけを隠して、尻は丸見えではないか。  
415  
416 んん、んお。ワシの腰回りにあわせて、大きさが変わるのか。

417 縮んで、股間にピッタリと張り付いてくる…。

418

419 むう。これは、裸よりも、むしろ羞恥心を覚える…。

420 貴様らしい、悪趣味なシロモノだな。

421 しかし、こんなものではワシは支配できぬぞ。

422

423 …いや、まだあるのか。

424 次は、スライム、か。

425 そのような低レベルの魔法生物で、ワシを、どうこうできるなど…、ん、んふ、あふ。

426

427 ん、んん。この。体に絡み付いて、気色の悪い。んあ、んふ、ん、んんん。

428 粘液の触れた場所が、熱を帯びたようにジンジンと火照って…。

429

430 ん、んん、んは。んん、んふ。催淫効果をもたらすように、人間どもがつくりかえたのか。

431 貴様ら人間の、あさましい欲望の産物か。

432

433 ん、んあ、んんふ。あ、んんん。

434 だが、こんなものでは堕ちんぞ。ワシは貴様のものにはならぬ。

435 憐れな人造生命の力を借りねばならぬ、貴様ごときのものにはな。

436 …んくっ、何をニヤついておる。だからこの程度では、ワシは…、ん、んはあぁっ！

437

438 なに！ 貞操帯が、ワシの秘所をおおった部分が、震えておる。

439 ん、んは、んお。ん、あ、あぁ。んん、んあぁ、あ、あぁ。あ、あ、あはぁ。

440

441 んん、んはぁ！

442 今度は、スライムが、貞操帯の隙間から入って、くる。

443

444 ワシの陰部を、マンコを、粘液で濡らしながら、這いまわっておる。

445 ん、んあぁ、んお、んはぁん。んお。くそ。貞操帯が邪魔で、スライムを剥がすことができぬ。

446

447 や、やめろ。振動を、スライムを止めろ。

448 ん、んはぁん。んお、あ、あおお、ん、んおお。

449

450 いかん。スライムが広がって、全身くまなく覆い尽くされる。

451 胸から尻からマンコから、強い刺激を与えられて、ワシの女が感じてしまう。

452

453 あぁ、もう、体の火照りが、止められぬ。

454 貞操帯からの振動も、直接クリトリスに響いて、ん、んく、んんんんん！



455 スライムのヌルヌルだけでなく、自分の愛液でも濡れてしまっておる。  
456  
457 こんな、こんな男の責めで、ワシが快感に喘いでしまう。  
458 んああ、あ、あ、ああん。ん、んあっはあん。  
459  
460 ああ、悔しい！  
461 バラバラだった魔族をまとめあげ、傲慢な人間どもと戦いに明け暮れた日々の中で、ワシは女であることを捨てたはず  
• だ。  
462 王として、戦士として、ただ強く、強くあれと！  
463  
464 それなのに、こんな、こんなことがあっていいはずが…、ん、んあ、あはあああつ。  
465  
466 んぐおお、尻に、尻の中に、スライムが入ってきておる！  
467 ワシのケツ穴が、熱いドロドロに犯されておる！  
468  
469 尻穴犯されながら、マンコも、クリトリスも、ブルブル震える貞操帯で感じさせられて…。  
470 んああ、やめろ、やめてくれ。ワシをこれ以上感じさせないでくれ。  
471  
472 ん、ん、んっはあん。スライム、腸の中でグルグルうごめいて…。

473 これは、ワシの排泄物を、ウンコを食らっておるのか？  
474 ぐ、んおお。腹の中が掃除、されていく。んぐ、おぐ、んあ、んおお。あ、あ、お、お、んおおん。  
475  
476 き、貴様！ そんな目でワシをみるな。  
477 浅ましく声をあげる魔王がそんなに面白いのか。  
478 魔法の道具とモンスターに感じさせられておる姿が、愉快でたまらぬか。んぐ、んほ、おっぐう。ん、あっはあ、んっ  
• はあ。  
479  
480 ああ、マンコも焼けるように熱い。  
481 熱い陰部をかきむしりたいのに、貞操帯が邪魔をする。  
482  
483 このクリ振動が、んぐっ、も、もどかしい。  
484 んああ、指で、直接マンコ穴をズボズボしたいなどと、これは本当にワシの望みなのか？  
485  
486 くそっ！ ありえぬ。このようなことはありえぬ。  
487 ワシがメスの快楽を欲しておるなど、認めてはならぬ。  
488  
489 女性器どころか肛門まで感じまくっておるなど、あってはならぬ。  
490 んぐぬっ、こんなことで、貴様に屈服などせぬぞお！

491 …ん、んん？ 貞操帯もスライムも、急に動きを止め、た…？ んん、んお、んぐぐ、んはぁ。  
492  
493 スライムが、んぐ、尻から、ん、んお、這い、出ておる…。ケツの中身をきれいに喰らい尽くして、出ていきおっ  
• た…。  
494 あぁ、カラになった腹の中が、スライム粘液のおかげでジンジンとしびれる。  
495  
496 ん、んぁぁ、熱い、熱いぞ。体の内側から溶かされるようだ。  
497 半端にいじくられたマンコも、冷めることなく疼いた、まま…。  
498  
499 …ぐぬう、い、いかん。ワシは何を考えておるのだ。  
500 …しかし、これでは。このような状態で放置されては、いくらワシとて…。  
501  
502 …せ、責めはこれで終わりか？  
503 こ、この程度で音を上げるワシではないわ。まだまだ耐えてみせるぞ。  
504  
505 …どうした？ 来ないのか？  
506 ワシの意思の強靱さに、貴様もとうとう諦めたのか…？  
507  
508 …な、何を言う。そのようなことがあるわけなからう。

509      ワシが、快楽を求めておるなどと、何を馬鹿なことを！  
510  
511      やめろ。ワシに触れるな。  
512      汗ばんで熱を帯びた肌を、その汚らわしい手でもてあそぶな…、ん、あ、んああ。  
513      んふ、んは、あっはあ。また尻か。やはり尻が好きなのだな。んん、ねちっこくワシのケツを撫で回しおって。  
514  
515      んぐあっ、そ、そこは…。  
516      スライムにこじ開けられてヒクヒクしたままの尻穴を、んん、指でつつくんじゃない。  
517      ん、んああ。入って、くる。貴様の指が、ケツ穴に、入ってくる。んぐ、あっぐ。んふ、んん、んおお。  
518  
519      まさか、貴様、ワシのケツを犯そうというのか？  
520      スライムに腹を空っぽにさせて、今度は指で肛門の入り口を執拗にほぐして…。んお、ぐぐ、んっはあん。  
521  
522      おのれ、ゲスが。  
523      マンコを封印したのもこのためか。  
524      今日は後ろの穴を存分に味わおうというのだな？  
525      ワシの、尻穴処女を、奪おうというのだな？  
526  
527      …んぐっ。お、おのれ。

528 このワシを、魔王を獣のように四つん這いにさせるとは…。

529

530 んぐあ、んあはあ。この変態が！ ためらいもなく肛門に口づけおって。

531 んは、んぐっ、んおお。ケツ穴、ベロベロ、音を立てて舐め回すなあ。

532 魔王のクソ穴、舌先でほじるんじゃない。んあ、んぐ、あっぐ。んお、んん、んっはあ。

533

534 あはあ、ワシの尻が舐めほぐされておる。

535 こんな男の舌で、ワシのケツ穴が開かれていく…。

536 ん、んん、んぐおおおお。

537

538 んあ、んぐ、ぬぐう。熱い肉が、当たっておる。ワシの尻に、オスの証が当たっておる。

539 入れるのか？ 尻に、ねじ込むのか？

540 貴様のモノを、人間のチンポを、ワシのケツ穴にぶち込むのだな。

541

542 …やってみろ。好きなだけ突けばいい。

543 どれだけ貴様が腰を振ろうが、ワシは決して感じぬ。

544

545 貴様の粗チンでワシに快樂をもたらすことなど、到底出来ぬと教えてやる。

546 ワシは魔王だ。人間などに負けはしない。

547 貴様のチンポになど、決して負けることはない！  
548  
549 さあ、来るがいいっ！  
550  
551 んぐ、ぐぐ、ぐおおっ！ 来た、チンポが来たっ！  
552 魔王のケツ穴処女を破って、オスチンポが入ってきたぁ！  
553  
554 ここは尻の穴だ。快楽を得るための場所ではない。なのに、こんな！  
555 んぐっ、違う！ 違うのだっ！  
556 んぐおお、感、じぬわ。感じて、たまるものかぁ。んっぐ、あ、あおおっ。  
557  
558 お、奥うっ。いきなり奥まで、オトコに貫かれておるっ。  
559 魔王をおとしめるように、ガッツンガッツン、突いてきておる。  
560  
561 ぐぬう、んおお、ぐおお。尻の穴を、まるでマンコのようにあつかいおって。  
562 それで、その荒々しい尻穴交尾で、ワシを征服するつもりか。  
563  
564 ぬぐぐ、んぐ、まだだぁっ。まだ、そんなものでえっ。  
565 そんな勢いだけのケツピストンでは、ワシは感じさせられぬぞ。

566 んは、んぐ、んおお。ゴリゴリ、肉棒が腸壁をえぐるう。

567 上下左右にチンポを押し付けて、腹をかき混ぜておる。

568

569 んああ、スライム粘液で敏感になった腸内が、マンヒダのように、貴様のチンポに絡みつくう。

570 んっぐぐ、あはあ。ワシの、意思ではない。ワシは、こんなこと、望んではおらぬ。

571 肛門でチンポ迎え入れて、喜んでなど、おらぬう！

572

573 すべてはスライム調教のせいだ。

574 あのドロドロのおかげで、尻がマンコに作り変えられたのだあ！

575

576 あっぐ、んお、おっぐおお。な、なんという屈辱。

577 魔王たるワシが、ケツマンコを犯され、こんな男のチンポに鳴かされておるなど。

578

579 ぬぐおお、くそっ！ 尻を突かれて、前も疼くうっ。

580 ケツからマンコに、快感が伝わって、んくうっ。

581

582 ああ、濡れる。ケツ交尾で、女の涙が止まらな、いっつ。

583 これは、これでは。んぐぐぐ、んあ、んんんん、んぐおおっ！

584

585 ここで、貞操帯を使うかあっ！ おのれ、おのれえっ！  
586 マンコとケツの快感がぶつかり合って、ダラダラダラダラ、いやらしいヨダレが止まらぬ。  
587  
588 んぐあっ、このようなはずかしめ、耐えられぬっ。  
589 殺せっ。ワシを殺してくれっ。  
590  
591 でなければワシはっ。このままではっ。  
592 んぐおおっ、嫌だ。負けぬぞ、負けぬ。…負けたく、ないっ！  
593 チンポになど、負けたくないのに。人間のオスなどに、屈服させられたくないのにつ！  
594  
595 ワシが、魔族の王として、どれだけのものを犠牲にしてきたかっ！  
596 望まぬ戦いを、どんな思いで続けてきたかっ！  
597 それが、貴様にわかるのかっ？！  
598  
599 愛のかけらもない肛門陵辱で、女を無理矢理に自分のものにしようとする、貴様のような外道につ！  
600  
601 んお、ぐぬ、うっぐぐぬ。ワシは何のために、何のためにいつ！  
602 ん、んぐおおおおおおおおおっ！  
603



604 あ、あ、あ、あ、お、お、お、おっ！ あぐ、んぐ、おっぐうっ！  
605 いかん！ これ以上はダメだ！ もう、声が、抑えられぬっ！  
606 恥知らずに快楽を貪る、ただのメスになってしまううううっ！  
607  
608 ん、くっ、悔しいいいっ！ 感じるっ！ 感じてしまううううっ！  
609 チンポでっ！ 人間のオスチンポでっ！  
610  
611 ケツをっ！ ケツマンコほじられてっ！ ワシの、女が、目覚めてしまううううっ！  
612 んぐおおっ、んおおおん、ぐぬ、お、おおおん！  
613  
614 もう知らぬっ！ もう、勝手にしろおおおっ！  
615 貴様の好きなように、パンパンパンパン腰を打ち付けて、チンポ肉、ズボズボ突き入れろっ！  
616  
617 だから、早く終わらせてくれっ！  
618 早く射精して、ワシを、この快楽から解放してくれえっ！  
619 はやく、ケツに、チンポ汁を出せえええっ！  
620  
621 んぐあ、んっはあっ！ んおっ、お、おおう！  
622 イクっ！ イってしまうっ！

623 ぐおお、んおおん。ワシがイク前に、貴様がイケえっ！  
624 ワシの中で、みっともなく発射してしまえっ！  
625  
626 ああ、イクっ！ ああ、イクうっ！  
627 人間ごときのチンポピストンで、魔王が、ケツで、アクメするうううううっ！  
628  
629 あ、あおおおう！  
630 チンポに、ワシが負けてしまううううっ！  
631  
632 んおおっ！ 貴様のチンポも膨らむうっ！  
633 出すのか？ ザーメン、出そうなのか？  
634  
635 出せ出せ出せえっ！ ワシのケツに、たっぷり出せえええっ！  
636  
637 んおおおおっ！ イっ、イックうううっ！  
638 ケツマンコにチンポザーメン注がれて、尻穴絶頂、キメてしまうううううっ！  
639  
640 んぐ、んぐおおおおっ！ 出たあっ！ 出たぞおおおっ！  
641 ザー汁、肛門マンコに、ドップドップ吐き出しておるぞおおおっ！

642 んお、んぐおおおっ！ あ、あおう、んぐあ、あおおおう！  
643 イグウ！ イッグウっ！ イグイグっ！ イつつグうううううん！  
644 オッ、オッ、オッ、オオッホオオオオオオオオンッ！

645

646

647

648 …はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。

649 う、ううん。く、くそお…。

650

651 貴様のようなゲスに、イカされてしまったのか、ワシは…。

652 結局、チンポには敵わなかった…。ワシも、ただのオンナだったということなのか…？

653

654 しかし、まだ、心まで折れてはいない。

655 たとえ体は快楽に飲み込まれても、この誇りだけは、この魂だけは、踏みにじらせはしない。

656

657 貴様には、決して…。

658 貴様に、だけ、は…。

659

660

661 ・チャプター4「ウェディングドレス姿の魔王と淫語だらけの種付けファック→分身魔法でニ穴ファック」  
662  
663 …戻ったか。ひと月ぶりほどになるか。  
664  
665 …まあ、ワシとしては、貴様の顔を見ずにすんで、せいせいしておったところだ。  
666  
667 それにしても、貴様、以前とは比べ物にならぬほどの魔力を身にまといおるようだが。  
668 まさか、本当に神と契りを交わしたとでも言うのか…。  
669  
670 な！ 馬鹿な、誰が嫉妬など…！  
671 貴様がどこで誰と寝ようが、ワシには関係ない。  
672 相手が神であったとして、何の興味もない。  
673  
674 …んん、やめろ。馴れ馴れしく、触るんじゃない。  
675 ワシは貴様の女になったつもりはないぞ。  
676  
677 ワシの体に、手を、這わせるな。好き放題に、まさぐるなあ。  
678 ん、んぐ、や、やめろと、言っておるだろう。  
679

680 んん？ き、貴様、なに、を…んぐ、んんん、んふ、んん、んふ、んちゅ。  
681 ちゅっ、あふっ、んんっ、んちゅっ、んはあ、んちゅっ、んちゅう。  
682 んちゅっ、ちゅばっ、あふっ、んちゅっ、んちゅちゅっ、ううん、あはあ。  
683  
684 んちゅっ、ちゅばっ、んれろお。  
685 ん、んちゅ、ちゅばっ、んれろお、んちゅずずっ、んちゅるっ。  
686  
687 んえろ、んれろお、んふ、ええろお、ん、ずちゅ、ちゅ、んちゅうう、んれえろお。  
688 ん、んふ、んぷはあ。ん、んあはあ、はあ、はあ、はあ。  
689  
690 …貴様。ワシをそこらの女と一緒にするな。  
691 優しげな口づけぐらいで、体を、心を、許すと思うなよ。  
692  
693 …何だ、それは？  
694  
695 …むう。真っ白く、ヒラヒラして、どうにも動きづらそうな衣服だな。  
696 人間どもの花嫁装束に見えるが、まさか、それをワシに着ろと？  
697  
698 ば、馬鹿な。また、くだらぬ遊びを思いつきおって…。

699 魔王に花嫁ごっこをさせて、大恥をかかせるつもりか。  
700 戦ばかりしてきたワシに、そのような装束が似合うはずがないだろう。  
701  
702 …うるさい。貴様は本当に性悪のゲス野郎だな。  
703  
704 …これでいいのか？  
705 …おのれ。笑いたければ、笑え。  
706  
707 …ぬう、くそっ。真顔でからかいおって。  
708 長い生涯で、貴様ほどワシに恥辱を与えたものはおらぬ。  
709 いくら憎んでも、憎みきれぬ。  
710  
711 今度は、頭飾り、か。  
712 花嫁装束に、銀色のティアラなど、やはり、ワシを馬鹿にしておるとしか思えぬ。  
713  
714 しかも、何か良からぬ気配がするな。まがまがしい魔力の気配が…。  
715 んあ、この、勝手につけるんじゃない。  
716  
717 …あ、ああ。頭が、ぼおっとする。

718 …ワシに、一体、何をした…？  
719  
720 ん、んぐ、あはあ。こ、こら、急に押し倒すな。  
721  
722 …このまま、スルのか？  
723 貴様がいない間、一人さびしく慰めていたおケツマンコを、そのムキムキ絶倫チンポで、ずっぽし奥まで犯し抜くの  
・ か？  
724  
725 …ワシは、何を言っておる…？  
726  
727 …何？ 「狂乱の淫語ティアラ」だと？  
728  
729 い、いかん。  
730 頭の奥から、卑猥な言葉があふれてくる。勝手に口から飛び出しそうになる。  
731  
732 くそ、とれぬ。  
733 呪いがかかったように、頭に張り付いたように剥がれぬ。  
734 うう、このままでは、んぐ、うぬぬぬ…。  
735

736  
737  
738  
739  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
750  
751  
752  
753  
754

やめろ、今は、近づくな。

オスの匂いをプンプンさせながら、ワシに近づくな。

貴様のデカマラが恋しくて、ワシの女の部分が発情してしまうのではないか。

んく、おのれ、このような言葉、口にしたくないのに。

だが、しかし、抗えぬ！

ああ、ウェディングドレス姿のワシに欲情しておるのか。

もう、貴様のぶっといモノが、衣服を押し上げてきておるぞ。

花嫁魔王様の尻肉に、くっさいマラ棒を埋め込んで、ズリズリとコキまくりたいのだろう？

…ああ、ワシも、もう我慢ができぬ。

貴様が留守の間、ヌレヌレの敏感マンコは、貞操帯にはばまれ、手は出せぬ。

だから、ワシはひたすら肛門オナニーを繰り返すしかなかった。

しかし、自分で慰めるだけでは、チンポ肉でケツ穴をズッポズッポされる快感には程遠く、ずっと苦しかったのだ。

貴様のオスチンポが、ワシの女をとろけさせてくれるのを心待ちにしておったのだあ。



755 んはあ、来るな。…いや、来てくれ。  
756 もっと、オトコのチンポ臭を嗅がせてくれ。  
757  
758 …んおお、チンポ、お、オチンポお。  
759 オチンポ、欲しいい。…んぐう、いかん。これ以上は、本当にいかん。  
760  
761 ん、くはあ。切ないのだ。  
762 胸が、マンコが、ケツ穴が！  
763 おあずけをくらっていたあらゆる性感帯が、今にも狂いそうなのだあ！  
764  
765 ん、ん、んはあ。外してもいいのか？ この忌々しい貞操帯を外してくれるのか？  
766  
767 …んん、ああ、憎い男の手によって、ワシのマンコが解放される。  
768 んおお、濡れる。ワシのエロメスマンコ穴が、期待でビショビショになる。  
769  
770 …んぐ、んん、んあっはあああん。  
771 オマンコの封印を解かれて、マン汁吹き出してしまうっ！  
772 んくう、あ、あ、ああん、あっはあああん。  
773

774 ん、あはあ、これで、オマンコ、丸見えだ。  
775 花嫁衣裳の下で、メスのエロ穴が、オマンコ汁でヌルヌルのグッチョグチョおっ。  
776 これからカリ太デカチンポで貫かれると知って、喜びの涙を垂れ流しておる。  
777  
778 熱く濡れそぼったマンビラも、勃起しどおしのクリトリスも、貴様のオチンポ奉仕を待っておったのだ。  
779 調教済みのケツマンコも、オス肉ズブプリ埋めてほしくて、ヒクヒク痙攣しておるぞ。  
780  
781 …んああ、貴様も、脱いだ、か。  
782  
783 勇者の、オトコの、ハ、ハダカあ。  
784 チンポもすっかり勃起、しておるっ。  
785 デカくて、ぶっとい、オスのオチンポおっ。  
786  
787 あううん、ん、んぐおお。  
788 欲しい。それが、欲しい。  
789 ワシの穴という穴が、ズブプリ塞いで欲しくて、キュンキュンしておる。  
790  
791 んふう、前戯など、どうでもいい。  
792 本当は貴様の姿をみた時から、いつでもハメまくれるように、ワシの体は準備万端だ。

793 貴様の調教のおかげで、すっかりワシも、ただのメスに成り下がってしまったのだ。  
794  
795 だから、くれ。チンポくれえ。  
796 ワシに貴様の極太ギンギン生チンポ、早く味わわせてくれえっ。  
797  
798 …んんぐ、ぐお、んおおお。  
799 チンポ、きたあ…！  
800  
801 魔王のつゆだくオマンコに、オチンポ、ズッポシ、ナ・マ・ハ・メえっ。  
802  
803 くそおっ。感じる。感じてしまううっ。  
804 チン肉ゴリゴリ、トロマン突かれて、女の幸せ、感じてしまううっ。  
805  
806 んはあああ、あ、ああ、ああん。  
807 エロ魔王のマンヒダが、バキバキお肉棒をくわえ込んで、離さない。  
808 人間ごときのチンポピストンが、なぜ、こんなにも気持ちいいのだ。  
809  
810 んあ、あ、あ、あ、あ、あはあん。  
811 ワシの、気持ちのいいところ、亀頭の先が、あ、当たるうっ。

812 んあ、あ、あっはあああん。んぐ、ああ、ん、んんんう。

813 ダメだっ。今まで長いこと我慢してきたメスの喜びが、ひと突きごとに押し寄せるっ。

814

815 んんっはあああっ？

816 ワシを、孕ませる、だと？

817

818 人間の子種で、ワシが、子を宿すのか？ ワシでも、母親に、なれる、のか？

819 そんな、そんなことがっ。ああん、あ、あ、あ、あっはあああん。

820

821 ワシらの繋がった部分から、ん、魔力が、流れ込んでくる。

822 ワシを孕ませようと、チンポと魔力で、子宮をこじ開けようとしておる。

823

824 んああ、あはあおおおう。

825 開くう。子宮が、開くうっ。

826 人間の精子で子作りしたくて、子宮が下りてくるうっ。

827

828 んぐ、んっは、あっはあん。あ、あ、あ、ああああん。

829 んはあ、オチンポ膨らむ。魔王子宮に種付けしたくて、パンパンに膨れ上がっておる。

830

831 んああ、んぐ、あ、あ、あっはあん。んは、あは、あ、ああああん。  
832 オス肉マラでかき混ぜられて、ワシのスケベ穴が、喜んでおるう。  
833  
834 んぐああ、あっはあああ、ん、あ、あはあああん。  
835 イクう。マンコ、イクう。  
836 チンハメ、バコバコ、オマンコ、イックうっ！  
837  
838 んっはあああん。  
839 チンポもビクビク、限界まで勃起いっ！  
840  
841 出るのか？ 出すんだな？  
842 マン奥ドピュッと、チンポ汁、出すんだな？  
843  
844 く、くそおっ。  
845 貴様などに、孕ませられるなど。  
846 生ハメ中出しで、絶頂、させられるなどおっ。  
847  
848 でも、もう、ダメだっ！ が、我慢ができぬっ！  
849

850 ワシのメス子宮が、精液飲みたくて仕方がないのдаあっ！  
851 子作りしたいと、いうことをきかぬのдаあっ！ んぐああ、おっはあああん！  
852  
853 イクイクイク！ アクメする！  
854 大量スペルマジュース、子宮にめがけて、ドクドク発射あああっ！  
855  
856 んっはあああん、ん、んぐあ、っはあああん！  
857 孕むうっ、孕ませられるうっ！  
858 人間の子種汁で、魔王の子宮が、妊娠ぜっちよううううっ！  
859  
860 イグうっ！ イつつつグううううん！ んぐおっほおおおおん！  
861  
862 …んはあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ。  
863 んく、ザー汁、大量に中出し…。  
864 これでは、本当に孕む…。人間の子供を身ごもってしまう…。  
865  
866 んぐ、んおう。  
867 もう、これ以上はダメだ。ダメ、なのに、ああ、チンポを求めて、発情が止まらぬ…。  
868

869 …今度は、下から突き上げるのか？  
870 中出しされたばかりの、ドロドロマンコ、まだまだもてあそぶのか？  
871  
872 んん、んぐおお、んっはああん。  
873 なぜだ。なぜ貴様のチンポは萎えぬのだ。  
874 あんなに大量のチンポザーメンを吹き出しておきながら、なぜ、まだ、こんな、ん、んあ、あ、ああああん。  
875  
876 …なん、だと？ 貴様が、ふたり、おる、だと？  
877 下から、チンポ突きあげる貴様と、後ろから、ワシの胸を鷲掴みにしておる、貴様…？  
878  
879 同じ顔と、同じカラダ。  
880 ああ、同じ、お、オチンポお。  
881  
882 実体をもつ分身魔法、なのか…？  
883 その人間離れした魔力が、そのような術を可能にしておるのだな。  
884  
885 んぐあ、んっはあああ。  
886 四本の腕で、ワシの敏感なところ、まさぐるんじゃないい。  
887

888 マンコ突きながら、ビンビン乳首とクリチンポ、同時にコリコリいじるなあっ。  
889 んっはあ、あ、あ、あっはあああん。  
890  
891 んくああ、もう一本の熱いのが、背中に押し付けられておる。  
892 ああ、こちらもすでにビッキビキに腫れ上がって…。  
893  
894 切なそうに溢れる先走り汁を、ワシの肌に塗りこんでおるう。  
895 ああ、熱い。二本目のオチンポも、ガッチガチで燃えるように熱いい。  
896  
897 だが、すまぬなあ。先客がおって、まだお前をマンコに入れてやれぬのだ。  
898 だから、いましばらくは、ワシの柔肌の感触で我慢しておれ。  
899  
900 ん、ああ、そうだ。  
901 背中に亀頭を這わせて。もっとワシのことをチンポヨダレで汚してくれ。  
902 んはあ、背中から、尻に、尻の割れ目に、熱いオス肉が這っておるう。  
903  
904 んあっ！？ まっ、まさか。そんな、そのようなことっ！  
905 オマンコにチンポ入っておるのに、そのうえ、尻に、ケツ穴にまでっ！？  
906



907 やめろ、ケツマンコにオチンポ突っ込むな。  
908 二本のチンポで、ワシを狂わせるなあああつ。  
909  
910 んぐ、ぬぐぐ、んお、んっほおおおつ。  
911 魔王アヌスに、二本目チンポが、入ってくるうっ。んぐおおおつ、んお、お、おっほおおおつ。  
912  
913 マンコと、ケツ穴、両方チンポで犯されておるうっ。  
914 魔王たるワシが、人間のオス肉、二本ハメられ、んぐお、おおっ、おおっほおおおつ！  
915  
916 なんとのことだっ。  
917 ワシが、恥知らずにも花嫁衣裳なんぞ着せられ、二穴セックスでよがっておるなどおつ。  
918  
919 んぐおっほおっ！  
920 マンコは中出しザーメンでグチョグチョにかき混ぜられ、ケツは肛門がめくれあがるほどにほじくり返され、これは、  
・ 凄まじいまでの、カ・イ・カ・ン、んおおおおつ！  
921  
922 イグ、イグう！ こんなもの、すぐに気をやっってしまうっ！  
923 オマンコもケツも、すぐに、イググうううっ！ んぐあっはあああん！  
924

925 んぐお、あおお、おおう、お、おおう。  
926 あ、あ、あ、お、おおん、お、お、おおん。あっぐう、おっぐう、あ、あ、あへえっ。  
927 あひ、あふ、あへ、あっへえええっ。  
928  
929 スゴイ、スゴイぞ。これ、スッゴいいいいん！  
930 マンコセックスも、ケツセックスも、どっちもすつごく、気ん持ちいいぞおおおっ！  
931  
932 ああ、もう、わけがわからん！  
933 ふたつの穴に、二本のチンポっ！ ズリズリズボズボ、交互に抜き差しっ！  
934  
935 お、お、お、オオオウ！ オッホオオオウ！  
936 んぐお、これがワシの声なのか？ この、ケダモノのように吠える声が？  
937 んん、んほ、ン、ンオオオオオオウッ！  
938  
939 …馬鹿なっ！ こんなにも下品なアへ声を、ワシが出して、おるというのかっ！  
940 んぐ、ん、んんん、ん、ンッホオオオオオオッ！  
941  
942 んぐああ、抑えられぬ。  
943 マンコアナル同時ファックで、変態魔王が、吠えまくりいいいつ！

944 んぐ、あぐ、んっぐ、オ、オオオオウ！

945

946 気持ちイイっ！ 二本の絶倫チンポ、ギモデイイいいいいん！

947 またイクまたイクまたイックウウウっ！ んぐ、んん、ンッホオオオオオン！

948

949 もっと！ もっとだ！ もっと、チンポで、突きまくれえっ！

950 ア、ア、ア、ア、オ、オ、オ、オ、オッ、オオオオオン！

951

952 それだ、それイイ！ それ、イイ、ぞおっ！

953 ズッコンバッコン！ ズッコンバッコン！ ズッコンバッコンズッコンバッコンうううっ！

954

955 ワシも、自分から腰を振ってしまううっ！

956 魔王が、オチンポ欲しくて、ケツ振りまくりいいっ！ んんん、んぐおおおおっ！

957

958 …んぐぐ、わ、ワシの顔が、どうした？

959

960 …んん、そ、それは、そうだろう。

961 こんなに激しい、二穴交尾をかましておるのだ。

962 みっともない、チンポ顔になるのは、当然だろう。

963 んぐ、んあっは、あっひい、あへっ、んあ、ア、アッヘエエツ。  
964 ど、どうだ？ ワシのアへ顔は？ 貴様好みのド変態なスケベ顔になっておるかあ？  
965  
966 んっふふふ。んん、あっはっはっはっはあっ！  
967 知らなかったぞ。セックスがこんなにイイものだったとはっ！  
968  
969 これは、この快楽は、すべての苦悩を忘れさせてくれる。  
970 もう、戦の行方などに心を悩ませなくてもいい。  
971  
972 ワシにはもう、チンポとマンコさえあれば、それでいいっ！  
973  
974 だから、ほれ！ 貴様のそのブツとくてガッチガチの勃起チンポで、も〜っと、ワシを犯しぬけっ！  
975 ワシに、本当のエロメスアクメを教えてみせろ、ングオオオオッ！  
976  
977 んぐ、あっぐ、お、お、ンホ、オッホオ！ ンお、ングッ、ンッオオオオウッ！  
978 ングオオオ！ ケツもマンコもギモヂイイっ！  
979 貴様のチンポも、最高だぞおっ！  
980  
981 今は、今だけはっ。ワシは、貴様のドスケベ花嫁だあっ！

982 ド淫乱魔王のメス穴すべて、貴様のチンポ専用肉便器にさせてやるうっ！  
983  
984 だから、出せえっ！  
985 マンハメチンポとアナルハメチンポで、同時にザー汁、ビュルビュル排泄うっ！  
986 ワシの便所穴を、白いドロドロで満たしてくれえええっ！  
987  
988 んぐおお、これは、これはスゴイっ！ スゴイ絶頂、そこまで来てるぞおっ！  
989  
990 んぐお、んほ、ンッホホオオオウ！ ウッホオ、イグイグ！ また、イググウウウン！  
991 ア、ア、ア、ア、オ、オ、オ、オ、オッグ、オオッホオオオオオオン！  
992  
993 ソラソラソラソラっ！ 貴様もイケっ！  
994 ズコズコバコバコ高速ピストンで、デカマラ肉棒から、子種汁ドッピュドピュうううっ！  
995 濃ゆういチンポ汁射精で、マンコとアナル、種付け同時ぜっちよおおおおおうっ！  
996  
997 ンッホホホオオオウ！ 出ておる！ 出ておるうっ！  
998 二本のチンポから、ドクドク、中出しっ、中出しっ！  
999  
1000 マンコ子宮もっ！ 直腸子宮もっ！

1001 大量特濃ザーメンで、妊娠確実のドスケベアクメえええっ！ んぐ、んん、ンッホオオオウッ！  
1002  
1003 アアア、アアッ、オオオオオオオオン！  
1004 ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ンオッ、ングオオオオウ！  
1005 ンオオオオオオウ！ ンンオオオオオオオオウ！  
1006  
1007 イググウウウ！ イグイグ！ インググウウウウウッ！  
1008 ングア、ンア、アアアアアオオオオオオオオオオオオオオウ！  
1009 イ、インググウウウウウウウウウウウオオオオオオオオンッ！  
1010  
1011  
1012  
1013 …はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…。  
1014 …ずいぶんと乱れてしまったが、あれがワシの本心だと思うなよ。  
1015 ワシは、誇り高き魔族の王だ。次は、こうはいかぬ。  
1016  
1017 …くっ。ニヤついた顔で見るんじゃない。いつまでもいけ好かない男だな。  
1018  
1019 …うるさい。貴様の子種でワシが孕むわけがなかろう。あって、たまるか。

1020     だが、もし、そのようなことになれば、…わかっておるだろうな？

1021

1022     …もう、行くのか？

1023     都合の悪い話になるとこれだ。

1024     まったく、男というものは。

1025

1026     …何故、ワシはこのような男に敗れたのだろうか。

1027     …それだけが、どうにも解せぬ。

1028

1029

1030

1031

1032

1033

1034

1035

1036

1037

1038

1039 ・チャプターEX「その後の魔王サマ ～勇者とラブイチャ濃厚子作りセックス編～」  
1040  
1041 …んふう、んちゅ、んむ、ちゅ、ちゅる、んちゅうつ。  
1042 あむう、んふ、んん、んあ、んん、んふう。んん、んは、んちゅう。んへえろ、えへえろ。  
1043  
1044 あむ、んふ、んふう。んちゅ、ちゅる、ずちゅるう。  
1045 ええむ、んむ、んあ、んん、んふ、んむ、んふう。  
1046 えへえろ、ええろ、えろ、れろ、じゅるれろお。  
1047  
1048 じゅる、ずず、ずちゅる。えれえろ、えるえる、んへえろ、ええろお。  
1049 あむん、んん、んふ、んへ、んあ、えへえろん。  
1050 ちゅ、ちゅ、ずっちゅう。ずず、じゅる、じゅろろおん。  
1051  
1052 んん、んふ、んへああ。えへえろ、じゅるる、ちゅる、ずちゅ、ずぞぞお。あふん、んふ、んは、んちゅ、ちゅる、じ  
・ ゆるる。  
1053 じゅぞ、ずず、ずちゅる。んちゅ、んは、んちゅずず。  
1054  
1055 じゅるじゅる、じゅるるん。んちゅ、じゅる、ぶっちゅう。んぶ、ぶぶ、ぶちゅるう。  
1056 んへろおん、えろおん、んぶ、じゅる、じゅるれろおん。



1057 んぶ、んん、んっふう。えるえるえるえる、える、えろおん。

1058

1059 えぶ、んぶ、んぶぶ、んん、んふ、んむう。

1060 んん、んん、んんんんん！ んふ、んぶ、んんんんんんん！

1061 んむ、んん、んふう、んん、んふううう！ んふう、んん、んふううう！

1062

1063 んん、んちゅ、んっちゅう、ちゅちゅ、んっちゅううん。

1064

1065 んへえ、んん、んふ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…。

1066

1067 んん、んあ、ああ…。おい、勇者よ…。

1068 いつまで焦らせば、気がすむのだ。

1069

1070 丹念にカラダをまさぐられ、んん、熱い接吻で、いやらしくベロベロと舌を絡めあって、んふう。

1071 …これでは、昂りが抑えられぬ。

1072

1073 …そうだ。もう、我慢ならぬのだ。

1074 ワシは…、魔王は、貴様のチンポが、欲しいのだ…。

1075

1076 この、しとどに濡れそぼった、魔王の準備万端ヌレヌレオマンコに、勇者のギンギン勃起チンポを、ズッポシ奥までハ  
・メて欲しい。

1077 マンコにチンポをハメハメして欲しいのだ。

1078

1079 だから、早く。早く、ハメろ。

1080 ワシのマンコに、ハメるのだ。チンポをズッポシ、ハメるのだっ！

1081

1082 ほおれ、ココに！ このアナに！

1083 魔王のメス穴、メスマンコお！ メスの魔王のマンコ穴にっ！

1084 極太絶倫勇者チンポをっ！ ズボッと、ズブっと、ハメチンポしてくれっ！

1085

1086 ああっ、セックス！ セックス、したいのだっ！ 勇者とセックスしたいのだっ！

1087 魔王は勇者と、ラブラブセックス、したいのだあっ！

1088

1089 んん、んあっ！ ああああっ！ チンポがっ！ チンポがっ！ チンポが、キタあああっ！

1090 あっ！ あっ！ あっはあん！ チンポ、チンポ、チンポおおおっ！

1091

1092 勇者のチンポとセックスっ！ セックスうっ！

1093 勇者と魔王が、チンポとマンコでラブセックスっ！ 勇者と魔王のラブラブセックスうううっ！

1094 あっ、あっ、んおお！ あっ、ああん！  
1095 んあっ、ああっ、あっ、あっ、んおっ、んおっ、おっ、おおんっ！  
1096  
1097 バキバキチンポが、ワシの、んおっ、気持ちのいいところを、的確に、エグッてくるっ！  
1098  
1099 さすがは勇者だ！ 勇者のチンポだっ！  
1100 魔王のマンコは、勇者のチンポに、んあっ、んくうっ！ ハメられ、エグられ、墮とされたのだから！  
1101  
1102 あっはあっ！ いいぞっ！ 気持ちがいイぞォッ！  
1103 貴様のチンポは、最高だぞおっ！  
1104  
1105 ワシのマンコの具合はどうだ？ 貴様も気持ち、よくなっておるか？  
1106  
1107 ほおれ！ 遠慮なく、突きまくるがいい！  
1108 貴様の欲望のすべてを、このワシが受け止めてみせよう！  
1109  
1110 魔王のマンコは、勇者のチンポを収める鞘なのだ！  
1111 このワシのマンコこそが、貴様のチンポが帰ってくる場所なのだから！  
1112

1113 んおおおお、愛して、おるぞっ！ 貴様もっ！ 貴様のチンポもっ！  
1114 ワシに、女の喜びを教えてくれた、このオチンポおっ！ 魔王マンコは勇者チンポを愛してやまぬ！  
1115  
1116 おっ、おっ、んおおっ！ これは、愛だ！ 愛なのだ！  
1117 ワシは貴様を、愛しておるのだっ！  
1118  
1119 んおっ！ おおおっ！ んん、んおおおっ！  
1120 ズッコンバッコン、ラブピストンッ！ ラブラブチンポの、ラブラブファックうっ！  
1121  
1122 ああっ、んあっ、あっはあん！ チンポラブ！ チンポラブ！ オチンポ、ラブうっ！  
1123 チンポでファック！ マンコがファック！ チンポとマンコで、ラブ・ファックうっ！  
1124  
1125 んあっ、ああっ、んあっ、んおっ、おっ、おおおっ！  
1126 マンコが、マンコが、マンコが、イックうっ！ ラブチンポファックで、魔王のマンコがアクメするうっ！  
1127  
1128 おっ、おっ、おおおんっ！ イクイクイクイクっ！ マンコ、イックうっ！  
1129 んおっ！ おおおっ！ おっ！ おっ！ おっほおおおっ！  
1130  
1131 おっ、おっ、あっ、あっ、アッ、アッ、アッハアンッ！

1132 イキマンコしながら、ズコズコバコバコ、チンポでピストンっ！  
1133 アクメのさなかの魔王のマンコにっ！ 容赦なくチンポおっ！ ズコバコ、オチンポおっ！  
1134  
1135 アッ、アッ、アオオウ！ アッ、アオオウッ！  
1136 アクメが止まらぬ！ イクのが止まらぬうっ！  
1137 ラブラブチンポの猛攻撃に、ドスケベマンコが、イキまくりいっ！  
1138  
1139 ンッホオッ！ オッオオッ！ オオ、オッホオッ！  
1140 イクイク、マンコが、またイックうっ！ オマンコ、オマンコ、オマンコ、イグうっ！  
1141  
1142 ンオッ！ オオオッ！ オッ！ オオンッ！  
1143 アア、ンオ、オアアッ！ アアッ、ンオッ、ンアッ、アッハアンッ！  
1144 オオオン、アア、オオオ！ アッ、アアッ、アオオンッ！  
1145  
1146 オッ、ホッ、ホオンッ！ オッ、オッホオン！  
1147 ホオッ、ンホオッ！ オッ、オッ、オホオンッ！  
1148 ゲキハメチンポで、オッ、オッホオオオッ！  
1149  
1150 ズッコンバッコン、ハードなファックで、メスのハメ穴、魔王のハメ穴っ！

1151 オマンコ、オマンコ、イクイクイクうっ！

1152

1153 何度も、何度も、オマンコアクメえっ！

1154 魔王のドスケベメスマンコおっ！ 淫乱絶頂くりかえすうっ！

1155

1156 すごっ！すごっ！すごいぞおっ！すごいセックス！最高のファック！

1157 貴様とのファックが、この世のなによりも、ンホオッ！すっ、素晴らしいっ！

1158

1159 アオッ！オッ！オッホオオオウッ！ズンズンズコズコ、奥までチンポおっ！

1160

1161 勇者の旦那様チンポがっ！魔王のお嫁さんマンコを、ンッ、ンオッ、オッホオウッ！

1162 奥の奥まで、愛してくれるっ！奥までハメハメっ！ラブハメっ！ラブハメえええっ！

1163

1164 ズコバコズコバコ、奥ハメされるオチンポ亀頭っ！子宮のお口で、受け止めるっ！

1165 ドスケベ子宮のチンポキッスうっ！勇者チンポにメロメロの、魔王の子宮のオチンポキッスうっ！

1166

1167 ラブハメチンポが、ンン、ンッホオッ！

1168 出るぞっ！出る出るっ！射精するうっ！

1169

1170      ぶっといデカマラ、さらに膨れてっ！ オッ、オッ、オオオウッ！  
1171      ザーメン！ ザーメン！ ザーメン、発射ああっ！  
1172  
1173      クホッ！ ンンホォッ！ 種付け射精いっ！  
1174      魔王のマンコに、孕ませ射精いっ！  
1175  
1176      ザーメン、ドパドパッ！ 種汁、ビュクビュクっ！  
1177      ラブハメファックで、子作り中出しいっ！  
1178  
1179      アッ、アッ、アオオウッ！ オッ！ オオオオオウッ！  
1180      これほどの喜びっ！ これほどの快樂っ！ これほどのお、ア、アクメえええっ！  
1181  
1182      ワシをこれほど高ぶらせるのは、貴様と貴様のチンポだけだぁっ！  
1183      貴様に抱かれっ！ 貴様のチンポに貫かれっ！ 貴様の子種を注がれてっ！  
1184      ワシは、ワシは、幸せ、なのだぁっ！  
1185  
1186      幸せすぎて、子宮が開くっ！ 子宮の入り口、開いてしまううっ！  
1187      貴様の、勇者の、子種汁でっ！ 子を為したいと、子宮がクパクパ、口を、開くうっ！  
1188

1189 ハッ、ハッ、アッハアアアンッ！ 子宮で、子宮で、直飲みいっ！  
1190 魔王子宮で、勇者ザーメン、ゴクゴク、ゴクゴク、直飲みいっ！  
1191  
1192 これなら孕むっ！ 確実に、孕むうっ！  
1193 子作りっ！ 子作りっ！ 子作りするうううっ！  
1194  
1195 ムホッ！ また出たっ！ チンポ出たあっ！  
1196 チンポ汁！ チンポ汁！ チンポ汁うううっ！  
1197 子作りファックで連続射精っ！ 子宮めがけて、ドクドクビュルビュル、連続射精いっ！  
1198  
1199 オチンポ亀頭を子宮にねじ込み、直撃ち新鮮特濃ザーメンっ！  
1200 ヒトの子種を直接撃ち込むうっ！  
1201  
1202 アックウッ！ 染みるっ！ 染み込むうっ！  
1203 勇者の熱いオチンポ子種が、魔王の子宮に染み込んでゆくうっ！  
1204  
1205 オッ、オアッ、アフ、ンフ、ンン、ンオ、オッ、オオオオオッ…！  
1206 ワシの卵子に、魔王の卵子に、人間精子が、ンン、突入して、くるっ…！  
1207



1208      ンンン、ンオ、ンフ、アア、ンア、ンムウ、ンオ、オオ、オフウツ…！  
1209      受精…！    受精だ…！    受精、するのだ…！  
1210  
1211      精子と卵子が、アア、ハア、ンツ、ンンウウウンっ！  
1212      精子と卵子が、合体したっ！    紛れもなく、受精したっ！  
1213      今こそまさに、この魔王っ！    勇者の子を、孕んだぞおおっ！  
1214  
1215      オッ、オッ、オッホオオオッ！    アヒッ、ンヒッ、ンツホオオオンッ！  
1216      人間ごときに孕ませられて、魔王が幸せ、感じておるぞおっ！  
1217      受精しながら大絶頂っ！    子作りセックス大成功で、アッヘエ、アクメるっ！    アクメってしまううううっ！  
1218  
1219      アフッ！    ンフッ！    ンンオオオオオンッ！  
1220      ンヘエ、ンン、ンホ、アヘッ、ハヘッ、ハッヘエエエッ！  
1221      魔王懐妊の幸せアクメっ！    何度も何度も、イギまぐりいいいんっ！  
1222  
1223      アッ、アフ、ンオ、アム、ンン、ンヒ、ンツヒヒイイインッ！  
1224      アア、アヘ、ンツヘエエエンッ！    フヘ、ンヘ、ンホ、アア、ンア、アッヘエエエエ！  
1225  
1226      幸せっ！    幸せっ！    幸せなのだあっ！

1227 子作り完了マママンコおっ！ ズッコンバッコン、パパチンポでファックされまくってえっ！  
1228 魔王は、幸せイッパイなのだあああっ！  
1229  
1230 ムホッ、ムッホオッ！ もっとだ、もっと！ もっともっと、ファ〜ックッ！  
1231 パパのチンポで、ママのオマンコっ！ 征服し！ 蹂躪し！ 犯し抜いてくれえっ！  
1232  
1233 オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オオッ！  
1234 アッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オアッ、アッ、アアアアッ！  
1235  
1236 アッ、ハアッ、ンヒッ、ンホッ、ホッ、ホオオンッ！  
1237 ホヘッ、ンホヘエ、ンヒッ、フホッ、アッ、アヘエエエッ！  
1238  
1239 ラブラブセックスっ！ ラブラブ子作りっ！  
1240 孕ませチンポで、ラブ絶頂っ！ チンポに愛され、チンポを愛し、種を仕込まれ、ラブアクメえっ！  
1241  
1242 勇者よ！ 愛しい旦那様よっ！  
1243 この魔王を、もっと、愛してくれえっ！  
1244  
1245 セックス大好きドスケベ魔王の、みっともないアヘ顔も、下品なアヘ声もっ！

1246 絶頂しまくりイキまくりの、ドエロイ淫乱オマンコもおっ！  
1247 この魂まで全部っ！ ワシの全部を、愛してくれえええっ！  
1248  
1249 アッ、アッ、アアッ！ アッ、アッへエエエエエンッ！  
1250 愛ある、全力オチンポ射精いいっ！  
1251  
1252 愛しい勇者の、愛しいチンポおっ！  
1253 愛しい愛しい、勇者オチンポっ！ ドブドブビュービュー、勇者汁うっ！  
1254  
1255 ホッ、ホッ、オッホオオオッ！  
1256 勇者の底なしオチンポの、大量特濃ザーメン射精っ！  
1257 オマンコ、満タンっ！ 金玉ミルクで、満、タン、だあっ！  
1258  
1259 ワシのマンコが、貴様の子種で、溢れておるっ！  
1260 魔王のマンコと子宮の中が、勇者チンポのザーメン汁で、溢れておるぞおっ！  
1261  
1262 これでは、溺れるっ！ 溺れてしまううっ！  
1263 孕みたての受精卵が、オチンポスペルマ洪水で、おっ、おっ、溺れるうううんっ！  
1264

1265 ワシのすべてが塗り替えられるっ！ ザーメン色に塗り替えられるうっ！  
1266 ザーメン、精液、オチンポミルクっ！ 金玉スペルマ、お精子ジュースうっ！  
1267  
1268 これはタマランっ！ これはイグイグうっ！  
1269 イグイグイグイグっ！ イグイグイグイグっ！ 魔王の全力全開の、限界突破のドスケベアクメえええっ！  
1270  
1271 オッ、オオオッ、オオッホオオオウッ！  
1272 ホオンッ！ オホオンッ！ ホオッ、ホオッ、オッホッホオオオオオオンッ！  
1273  
1274 イググウウウッ！ イグイグッ！ イグッ！ イグッ！ イググウウウンッ！  
1275 愛情たっぷりオチンポザーメンッ！ ワシの全部を満たしてくれるっ！  
1276 魔王の妊娠大絶頂っ！ アへりまぐりのイギまぐりいいいんっ！  
1277  
1278 アヘアヘ、イグイグ、アヘッ、ンヒっ、ンッホオオオオンッ！  
1279 アアアア、アアアアンッ！ ンアッ、ング、オオオオッ！  
1280  
1281 ンオッ、オオオオンッ、ンオッ、ンオッ、オッ、オオオオオオンッ！  
1282 ホッ、ホッ、ホオウッ！ ホオッ、ホオッ、ンッホオオオオオオオオオオオオンンンッ！  
1283

～終わり～